

⑨ 日本国特許庁 (JP)

特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭59-53787

⑤ Int. Cl.³
D 06 N 5/00
E 04 D 5/10
C 09 J 7/02識別記号
1 0 3庁内整理番号
6617-4F
7121-2E
6770-4J

⑬ 公開 昭和59年(1984)3月28日

発明の数 1
審査請求 有

(全 3 頁)

感圧接着防水シート

⑭ 特 願 昭57-162634
⑮ 出 願 昭57(1982)9月17日
⑯ 発 明 者 両徳光信茨木市下穂積1丁目1番2号日
東電気工業株式会社内
⑰ 出 願 人 日東電気工業株式会社
茨木市下穂積1丁目1番2号
⑱ 代 理 人 弁理士 清水実

発明の名称 明 細 書

1. 発明の名称

感圧接着防水シート

2. 特許請求の範囲

- (1) 未、非加硫のゴムシート、又は感圧接着層を有する合成高分子シートなどの感圧接着層を有するシートの接着面に、エンボス加工を施した剥離保護シートを、該エンボスの凸面を前記接着面に埋入させて仮着して成ることを特徴とする感圧接着防水シート。

3. 発明の詳細な説明

この発明は感圧接着防水シートに関し、詳しくはルーフィングシートなどの感圧接着により下地材上に貼り付けられる防水シートに関する。

従来、防水施工の必要な面には防水シートが多数敷設され、次いで、その上に必要な上部構造物を形成していくことが行なわれ、上記防水シートとして、未、非加硫のゴムシート、あるいは感圧接着層を設けた合成高分子シートなどが一般に良く使用されている。

これら感圧接着防水シートは、ジョイントの水密性、下地に対する密着性を有し、防水シートとして優れた機能を発揮するのであるが、下地面が平滑面でありかつ、広面積である場合、施工時の展開時に、下地面と防水シートとの間に空気を噛み込んだり、あるいは湿熱により生じた下地からの蒸気の原因していわゆるフクレが生じ、これをスムーズに外部に排気出来ない結果、下地面から剥離してしまうことがあるといった問題があった。

このような問題を解決するため、上述のような感圧接着防水シートの感圧接着面に長く連続する溝を多数設け、この溝を介して内包した空気を排出することが提案されかつ、試みられているが、一般に感圧接着層は、柔軟性を有し、可塑性を有するから、例えば製造時に溝を形成してもこの溝は経時的に消失してしまい、使用に供されるまでの保管中に溝が自然消滅して、使用時には全く役が立たなくなっていることが多いといった問題があった。

特開昭59-53787(2)

この発明は、上記した問題に鑑み、シート展開時に下地面との間に空気が内包されても、これをスムーズに排出する溝が、長期保管しても全く消失することのない感圧接着防水シートを提供することを目的としてなされたものであって、未、非加硫のゴムシート、又は感圧接着層を有する合成高分子シートなどの、感圧接着層を有するシートの接着面にエンボス加工を施した剝離保護シートを、該エンボスの凸面を前記接着面に埋入させて仮着して成ることを特徴とするものである。

以下、この発明を実施例により説明する。

第1図はこの発明の実施例の要部拡大断面図である。

この発明の感圧接着防水シートAは、未、非加硫のゴムシート1A又は、感圧接着層を有する高分子シート1Bなどの感圧接着層を有するシート1の接着面2に、エンボス加工を施した剝離保護シート3を、該エンボスの凸面3Aを接着面2側に対面させ、かつ、この凸面3Aを

接着面2に埋入させて仮着して構成されている。

上記剝離保護シート3のエンボス加工の状態としては第1図に示したように剝離保護シート3の厚さ方向全体にわたり凹凸を設けたもののほか、第2図に示したように片面のみに凹凸3B、3Aを設けたものであっても良い。

また、エンボス加工による凹凸3B、3Aの状態は第3図に示すように、出来るだけシート1の全幅、又は全長にわたって連続したものが望ましく、図示のような非連続目状に設けられるほか、アランダム様に設けられる。

そして、この発明の感圧接着防水シートAは、製造時において感圧接着面2に部2Bがプレスなどにより成形され、予めエンボス加工した剝離保護シート3の凹凸面3B、3Aを部2Bに嵌合するように張り合わされるほか、接着面2に剝離保護シート3を張り合わせ、この状態でプレス加工することによって接着面2及び剝離保護シート3の両者に同時に凹凸加工することが行なわれる。

さらに、第2図に示したように保護剝離紙3の片面のみに凹凸3B、3Aを施したものにあっては、接着面2に重ね合わせ両者をプレスローラなどにより圧着することにより部2Bを形成すると同時に剝離保護シート3が仮着される。

この発明は、感圧接着面に対し、凹凸面を有する剝離保護シートを張り合わせた構成であるから、長期保存状態下においても感圧接着面に形成した空気排出用溝が消失することがなく、使用時に、剝離保護シートを剥せば明確な形状で溝があらわれ、シート展開時下地面との間にかみ込まれた空気をスムーズに排出することが出来、より完全な防水シートの感圧接着が可能となるのである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、この発明の実施例の断面図、第2図は他の実施例の断面図、第3図は実施例の斜視図である。

A…感圧接着防水シート、1…感圧接着層を有するシート、1A…未、非加硫のゴムシート

1B…高分子シート、2…接着面、3…剝離保護シート、3A…凸面、

代理人 弁理士 清水 実



53787(3)

